



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月10日

上場取引所 東名

上場会社名 株式会社今仙電機製作所
コード番号 7266 URL <http://www.imasen.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤掛 治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 大野真澄

TEL 0568-67-1211

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	82,624	1.8	2,818	△24.9	3,293	△28.4	2,352	△31.3
26年3月期第3四半期	81,198	25.2	3,754	34.3	4,596	58.8	3,423	83.9

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 2,158百万円 (△58.2%) 26年3月期第3四半期 5,166百万円 (183.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	123.38	113.13
26年3月期第3四半期	194.00	164.59

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	87,808	46,380	52.4	2,242.75
26年3月期	88,209	42,561	47.8	2,376.72

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 45,974百万円 26年3月期 42,174百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
27年3月期	—	14.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	112,700	2.2	5,000	7.3	5,200	△14.8	3,800	△18.8	185.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	21,045,880 株	26年3月期	18,290,486 株
27年3月期3Q	546,862 株	26年3月期	545,811 株
27年3月期3Q	19,070,118 株	26年3月期3Q	17,644,233 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の金融緩和策や経済対策の効果はみられましたが、消費税率引き上げによる個人消費の落ち込みや円安による原材料価格等の上昇の影響もあり、景気は低調に推移いたしました。海外においては、米国景気は回復基調が続いているものの、アジアではタイにおいて政情不安により景気が低迷し、また中国でも減速の傾向がみられました。

自動車業界におきまして、米国市場は需要が堅調に推移しましたが、タイにおいては自動車の生産台数が大幅に落ち込み、また国内においては、消費税率引き上げによる反動減の影響を受け、依然不透明な状況が続きました。

このような経営環境の中で当社グループは、2020年までの中期経営計画「Dream 2020」のフェーズ1の3年目となる当期において、①研究開発の強化、②人材育成とグローバル活用、③グローバルでの事業拡大、④国内事業の再編、⑤非自動車領域の事業開発、⑥グローバルマネジメントの確立に全社を挙げて取り組んでおります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は82,624百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益は2,818百万円（前年同期比24.9%減）、経常利益は3,293百万円（前年同期比28.4%減）、四半期純利益は2,352百万円（前年同期比31.3%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、前連結会計年度まで自動車販売関連事業を営んでおりました名北自動車株式会社は、平成26年4月に清算したため、連結の範囲から除外しております。

(a) 自動車部品関連事業

自動車部品関連事業につきましては、北米での受注は増加したものの、タイ及び国内において受注が減少し減益となったことにより、売上高は79,299百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益は2,721百万円（前年同期比26.8%減）となりました。

(b) ワイヤハーネス関連事業

航空機関連向けの受注が増加したことから、売上高は2,429百万円（前年同期比21.5%増）、営業利益は21百万円（前年同期比40.8%増）となりました。

(c) 福祉機器関連事業

平成26年9月に発売した無動力の歩行支援機ACSIVEの販売効果などにより、売上高は895百万円（前年同期比12.4%増）、営業利益は69百万円（前年同期比287.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

当第3四半期末における総資産は、87,808百万円（前期末比400百万円の減少）となりました。流動資産は、たな卸資産の増加（1,705百万円）などにより、52,016百万円（前期末比1,090百万円の増加）、固定資産は、有形固定資産の減少（1,119百万円）などにより、35,792百万円（前期末比1,491百万円の減少）となりました。

(ロ) 負債

当第3四半期末における負債は、41,428百万円（前期末比4,219百万円の減少）となりました。流動負債は、27,942百万円（前期末比2,007百万円の減少）、固定負債は、社債の減少（3,042百万円）などにより13,486百万円（前期末比2,211百万円の減少）となりました。

(ハ) 純資産

当第3四半期末における純資産は、転換社債型新株予約権付社債の転換に伴う資本金の増加（1,520百万円）、資本剰余金の増加（1,520百万円）、利益剰余金の増加（1,016百万円）などにより、46,380百万円（前期末比3,818百万円の増加）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果増加した資金は、3,790百万円（前年同期比25.2%減）、投資活動に使用した資金は、2,093百万円（前年同期比43.5%減）、財務活動の結果減少した資金は、1,880百万円（前年同期は10百万円の減少）となりました。

この結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物の残高は10,634百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、3,790百万円の増加となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益が3,258百万円、減価償却費が4,216百万円であったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,093百万円の減少となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出が1,922百万円であったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,880百万円の減少となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出が1,056百万円、リース債務の返済による支出が1,084百万円であったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成26年11月11日に公表しました予想から変更はございません。

なお、これらは当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が446百万円減少、退職給付に係る負債が824百万円増加し、利益剰余金が818百万円減少しております。なお、損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,015	11,208
受取手形及び売掛金	22,283	21,360
電子記録債権	3,893	4,828
たな卸資産	9,473	11,178
その他	4,260	3,441
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	50,925	52,016
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,690	8,562
機械装置及び運搬具（純額）	9,764	10,159
その他（純額）	11,738	10,352
有形固定資産合計	30,194	29,075
無形固定資産		
その他	1,553	1,325
無形固定資産合計	1,553	1,325
投資その他の資産		
投資有価証券	4,787	4,848
退職給付に係る資産	446	—
その他	374	600
貸倒引当金	△73	△58
投資その他の資産合計	5,535	5,391
固定資産合計	37,283	35,792
資産合計	88,209	87,808
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,734	8,157
電子記録債務	6,535	6,452
1年内償還予定の社債	5	—
短期借入金	4,553	5,460
未払法人税等	613	234
賞与引当金	1,247	507
製品保証引当金	152	118
その他	8,107	7,010
流動負債合計	29,950	27,942
固定負債		
社債	3,370	328
長期借入金	5,310	4,257
退職給付に係る負債	1,503	2,330
その他	5,513	6,570
固定負債合計	15,697	13,486
負債合計	45,647	41,428

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,613	6,134
資本剰余金	4,346	5,867
利益剰余金	30,322	31,339
自己株式	△439	△441
株主資本合計	38,843	42,900
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,816	1,797
為替換算調整勘定	1,590	1,262
退職給付に係る調整累計額	△76	13
その他の包括利益累計額合計	3,330	3,074
少数株主持分	387	405
純資産合計	42,561	46,380
負債純資産合計	88,209	87,808

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	81,198	82,624
売上原価	70,890	72,706
売上総利益	10,308	9,917
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	2,368	2,484
給料手当及び賞与	1,869	1,948
賞与引当金繰入額	72	75
退職給付費用	91	79
減価償却費	147	238
その他	2,004	2,271
販売費及び一般管理費合計	6,554	7,099
営業利益	3,754	2,818
営業外収益		
受取利息	71	112
受取配当金	76	93
為替差益	807	407
その他	120	190
営業外収益合計	1,076	805
営業外費用		
支払利息	188	261
その他	45	69
営業外費用合計	234	330
経常利益	4,596	3,293
特別利益		
固定資産売却益	1	2
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	2	2
特別損失		
固定資産処分損	52	36
特別損失合計	52	36
税金等調整前四半期純利益	4,545	3,258
法人税、住民税及び事業税	948	639
法人税等調整額	113	211
法人税等合計	1,062	850
少数株主損益調整前四半期純利益	3,483	2,408
少数株主利益	60	55
四半期純利益	3,423	2,352

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,483	2,408
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	637	△18
為替換算調整勘定	1,044	△321
退職給付に係る調整額	—	90
その他の包括利益合計	1,682	△249
四半期包括利益	5,166	2,158
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,068	2,096
少数株主に係る四半期包括利益	98	62

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,545	3,258
減価償却費	3,851	4,216
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	64	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△698	△740
受取利息及び受取配当金	△147	△206
支払利息	188	261
固定資産処分損益 (△は益)	51	34
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,669	392
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△442	△1,431
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,719	△915
その他	665	24
小計	6,127	4,893
利息及び配当金の受取額	139	211
利息の支払額	△185	△261
法人税等の支払額	△1,012	△1,052
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,068	3,790
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△20	△2
有形固定資産の取得による支出	△3,727	△1,922
有形固定資産の売却による収入	19	105
投資有価証券の取得による支出	△38	△90
その他	64	△183
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,703	△2,093
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	398	△39
長期借入れによる収入	2,319	867
長期借入金の返済による支出	△1,184	△1,056
社債の償還による支出	△5	△5
リース債務の返済による支出	△1,103	△1,084
配当金の支払額	△405	△517
その他	△30	△45
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10	△1,880
現金及び現金同等物に係る換算差額	333	359
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,687	176
現金及び現金同等物の期首残高	7,573	10,458
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,260	10,634

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、転換社債型新株予約権付社債に係る新株予約権の行使が行われた結果、資本金が1,520百万円、資本準備金が1,520百万円それぞれ増加し、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が6,134百万円、資本準備金が5,867百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品関連 事業	ワイヤー ハーネス 関連事業	福祉機器 関連事業	自動車 販売関連 事業	合計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	78,019	2,000	796	383	81,198	—	81,198
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	0	0	6	7	△7	—
計	78,019	2,001	796	389	81,206	△7	81,198
セグメント利益又は損失 (△)	3,717	15	18	△4	3,746	8	3,754

(注) 1. セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第3四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）

- 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品関連 事業	ワイヤー ハーネス 関連 事業	福祉機器 関連 事業	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	79,299	2,429	895	82,624	—	82,624
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	32	34	4	71	△71	—
計	79,332	2,463	900	82,695	△71	82,624
セグメント利益	2,721	21	69	2,813	5	2,818

(注) 1. セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- 2 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度まで自動車販売関連事業を営んでおりました名北自動車株式会社は、平成26年4月に清算いたしました。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。